

## 会議議事摘録

|              |  |
|--------------|--|
| 会議名          | 2021年度第1回学校関係者評価委員会  |
| 開催日時         | 2021年7月18日(日曜日)14:00~16:00   |
| 場 所          | 本校506教室  |
| 出席者<br>(敬称略) | <p>①委員：赤塚敦子(看護関連業界関係者)、石川幹夫(卒業生)、小林麻衣子(保護者)、篠塚 功(医療事務関連業界関係者)、藤井寿和(福祉関連業界関係者) (計5名)</p> <p>②学校：橋本正樹(校長)、榊原幸之(事務局長)、村山由美(医療秘書科学科長・医療事務科長)、深澤由紀子(医療秘書科副学科長)、三宅かおり(医療マネジメント科学科長・診療情報管理専攻科学科長・医療事務IT科学科長・診療情報管理科学科長)、川畑亮子(医療マネジメント科副学科長・診療情報管理専攻科副学科長・医療事務IT科副学科長・診療情報管理科副学科長)、中村博臣(くすり・調剤事務科学科長)、岩上由紀子(介護福祉科学科長)、熊谷 崇(介護福祉科教員・教務委員長)、伊東由美(看護科学科長) (計10名)</p> <p>③委員会事務局：松本晋圭、土屋瑠美子、土方雄太(計3名)</p> <p style="text-align: right;">(参加者合計18名)</p>   |
| 欠席者          | 伊藤由紀(高等学校関係者)、西村拓也(くすり関連業界関係者)   |
| 配付資料         | <p>①事前送付：<br/>資料1：2021年度学校関係者評価委員会名簿、資料2：2020年度第3回学校関係者委員会議事録案、資料3：2020年度第3回委員会以降の主な経過報告 別添A：2021年度校務分掌・組織図、別添B：2021年度学事日程・オープンキャンパス日程、別添C：2021年度クラス担任一覧、別添D：2020年度進路決定状況・求人件数、別添E：2021年度教員研修計画・実績、別添F：2020年度授業公開実施報告書、別添G：2021年度授業公開実施要領、別添H：2021年度前期授業アンケートの実施計画、別添I：2021年度教育課程編成委員会 資料4：2020年度活動の自己評価報告書点検大項目、資料5：2020年度学校関係者評価報告書に示された意見・課題への取り組み、資料6：2021年度の重点目標と達成するための計画・方法</p> <p>②当日配付・閲覧資料<br/>2021年度学生生活ガイド(看護科以外、看護科)、2021年度講義要項(全学科)、2021 Challenge 就職活動ノート、2022年度入学案内書、2022年度募集要項(看護科以外、看護科)</p> <p>③当日回覧資料<br/>2020年度活動の自己点検・自己評価報告書(点検中項目)</p> |
| 議題等          | <p>1. 今年度委員及び新任者(委員、本校)の紹介<br/>事務局より、資料1に基づき、今年度就任の新委員及び本校教職員の異動について紹介があった。</p> <p>2. 校長挨拶</p>   |

新型コロナウイルスの感染拡大は、ようやくワクチン接種が始まったものの、予断を許さない状況が続いている。

本校の教育活動としては、感染防止対策を十分に講じた上で、緊急事態宣言下においても原則として対面授業を実施し、適宜オンライン授業の日を組み込みながら、ほぼ予定どおりに夏休み前の授業日程を終えようとしている。

実習については、コロナの影響でお引き受けいただけないケースもあるが、医療事務分野の学科では実習期間を短縮し、不足分はオンラインでの代替授業で補うことにより、希望者全員分の実習先を確保できる見通しが立った。看護、介護、医療事務の実習では、実習先の病院、施設で希望者にワクチンを接種してくださるケースも増えている。

これから本校を卒業する学生の多くは、新型コロナウイルスと共存していかなければならない状況下で企業や医療機関、福祉施設等に就職することになる。感染防止の正しい知識を持った上で、職業人として自信を持って仕事に臨んでほしいと思っている。

学校関係者評価委員会は年3回の開催を予定している。今後も判断の難しい教育上の問題が様々発生することと思うが、委員の皆様には学校のサポーターとしてのご意見をいただきたい、との挨拶が行われた。

### 3. 2020年度第3回委員会議事録について

事務局より、事前に配付した前回議事録案（資料2）について修正等の意見を求めたところ、特段の意見がなく、原案のとおり承認された。

### 4. 2020年度第3回委員会以降の主な経過について

校長、事務局長、教務委員長、委員会事務局より、資料3（別添A～Iを含む）に基づき報告し、確認、了承された。委員からの質問・意見及びその回答は別紙のとおり。

### 5. 2020年度活動の自己評価報告書（点検大項目）について

資料4に基づき、基準の大項目ごとに質問・意見を徴し、確認、了承された。委員からの質問・意見及びその回答は別紙のとおり。

### 6. 2020年度学校関係者評価報告書に示された意見・課題への取り組みについて

資料5に基づき、基準の大項目ごとに担当者から追加コメント、委員から質問・意見を徴し、確認、了承された。委員からの質問・意見及びその回答は別紙のとおり。

### 7. 2021年度の重点目標と達成するための計画・方法について

資料6に基づき、橋本校長より補足説明があった後、確認、了承された。委員からの質問・意見及びその回答は別紙のとおり。

### 8. 意見交換など

教育全般について意見交換を行った。詳細は別紙のとおり。

9. 次回日程、その他

事務局より、次回は11月または12月を予定しており、8月下旬か9月に入って都合を伺いたいこと、併せて、今後は日程調整等をメールで行いたい旨の協力依頼があり、確認、了承された。

以上

## 2021 年度第 1 回学校関係者評価委員会の主な討議内容

### 次第 4. 2020 年度第 3 回委員会以降の主な経過について（資料 3 参照）

○橋本校長、榊原事務局長、熊谷教務委員長、事務局松本より資料 3（別添 A～I を含む）に基づき、以下の報告が行われた。

#### ①2021 年度校務分掌（別添 3-A）（説明者：橋本校長）

- ・学生委員会所管の体育祭は中止し、希望があれば緊急事態宣言解除後に学科ごとに実施する。学園祭は、一部オンライン等も活用しながら実施する方向である。

#### ②2021 年度学事日程・オープンキャンパス日程（別添 3-B）（説明者：榊原事務局長）

- ・入学式は 4 月 9 日に新入生のみで実施した。
- ・東京都に 3 回目の緊急事態宣言が発出された 4 月 25 日以降、順次週 1 日以上オンライン授業と休校日を盛り込んだ時間割に変更し、感染防止に取り組んだ。
- ・後期も対面とオンライン授業を併用した形態の継続が見込まれる。
- ・後期のスタートに合わせて学内の通信インフラの大規模な整備を行う。
- ・6 月より AO 入試のエントリーを開始し、初めてオンラインでの面談を実施した。
- ・社会人入試を学び直し再進学入試と改め、9 月から出願受付を開始する。
- ・オープンキャンパスは、前年度とほぼ同様のプログラムで行う。来校型のほかにライブ配信型、オンラインオープンキャンパスを実施している。
- ・事務局で 5 月、6 月を中心に、高校を訪問している。

#### ③学生の状況（入学、退学、就職）（別添 3-C、3-D 参照）（説明者：榊原事務局長）

- ・前年度の退学者数は非常に低い数値となった。新型コロナウイルス感染症禍による授業形態の変化が起因していると考えられる。
- ・就職関連では、内定率 97.9%と、新型コロナウイルス感染症禍の中でも順調に推移した。

（補足：新型コロナウイルス感染症関連）

- ・本校には看護科が設置されていることから、東京都看護協会を通じて、本校生全員が接種可能な大規模接種会場でのワクチン接種に関する案内（ソフトバンクの社会貢献事業の一つ）をいただいた。あくまでも任意のものとして 7 月に学生宛てに配信した。
- ・行政から、新型コロナウイルス抗原簡易検査キットを無償で提供するとの連絡を受け、現在、その準備を進めている。
- ・昼休みの昼食前に教室の換気、向かい合わせにならないよう注意喚起の校内放送、教職員による巡回指導を毎日実施している。

#### ④2021 年度教員研修実施計画・実績（別添 3-E 参照）（説明者：熊谷教務委員長）

- ・教務委員会主催の研修は、これまでの対策の見直し、再確認、情報を正しく理解することに重点を置く内容となっている。

#### ⑤授業公開（別添 3-F、3-G 参照）（説明者：熊谷教務委員長）

- ・前年度は授業公開期間を後期の授業全体としたことにより、いつでも気軽に授業参観ができる仕組みができたと考えている。オンライン授業は関心の高さがうかがえた。

・今年度はさらに公開期間を拡大し、通年で実施する。

⑥2021年度前期授業アンケート（別添3-H参照）（説明者：事務局松本）

・6月の2週間で実施し、現在集計中。

⑦自己点検・自己評価関連（説明者：事務局松本）

⑧職業実践専門課程関連（説明者：事務局松本）

・以上2件の補足説明は省略。

○委員からの質問・意見と回答は次のとおり。

| 委員からの質問・意見  | 質問・意見への回答   |
|---|---|
| <p>抗原検査キットはどのように活用される予定か。病院でも行うことはあるが、確定的ではないので、結局はPCR検査での判断になる。</p> <p>早く結果を知りたいので、その日のうちにPCR検査の結果が出る場所を見つけておくことも大事かと思う。看護科の実習などではすぐに対応できる仕組みがあるのか。</p> <p>オンライン研修の場合、受講料が安くなることはないのか。</p> <p>ワクチンの集団接種は学生全員が対象か。実習も受けやすくなるので、推奨されたほうがよいと思う。</p> | <p>授業中に具合が悪くなった場合に、一時的に簡易キットを使って陰性か陽性かを見る。発熱がある状況なので、すぐに病院に行ってもらうのが基本方針だが、受診までに時間がかかる場合もあるので、あるとよいと感じた。</p> <p>具合の悪い人は絶対に行かせないことが大前提であるが、実習中に体調が悪くなったときは、すぐに報告して、そのまま外来で検査をしてもらう手はずになっている。</p> <p>団体によって違うが、オンラインでは担当する講師以外にサポーターがつく場合もあり、人件費がかさんで高くなるケースもある。</p> <p>東京都看護協会からの連絡だったが、看護科だけにとどまらず、本校の学生、教職員は全て対象にしてよいとのことだった。</p> |

次第5. 2020年度活動の自己評価報告書（点検大項目）について（資料4参照）

○委員からの質問・意見と回答は次のとおり。

| 委員からの質問・意見   | 質問・意見への回答  |
|--|--|
| <p>ハラスメント防止委員会に実際に訴えがあり、審議されることがあるのか。</p> <p>よく防止されているのかもしれないが、何かあれば声に出していくような活動もしていくとよいと思う。</p> | <p>ハラスメント防止委員会は、ハラスメント防止のキャンペーンを行うことが中心で、実際何か起きた場合は相談員が担当する形になる。最近は全く起きていない。</p> <p>ご意見として伺った。</p> |

|   |  |
|---|--|
| <p>人事・給与制度の中で、教員の評価はどのような形で行われているのか。</p> <p>兼任講師の比率を聞きたい。また、連携を強化するために具体的にどのような活動をされているか。</p> | <p>教職員の評価は、学園全体の人事考課にのっとって行っている。年度当初に目標面接、途中で中間面接を行い、達成状況を反映している。</p> <p>比率については今まとめているので、次回の委員会で報告させていただく。</p> <p>一般に専門学校のほうが兼任講師の比率は高い。連携については、シラバスや科会で確認をしたり、最近ではオンラインによる時間割調整などでコミュニケーションが取れるケースもあり、連携が強まっている。</p> |
|---|--|

次第6. 2020年度学校関係者評価報告書に示された意見・課題への取り組みについて（資料5参照）

○委員からの質問・意見と回答は次のとおり。

| 委員からの質問・意見   | 質問・意見への回答  |
|--|--|
| <p>新型コロナウイルス感染症禍の中で臨機応変に対応していかなければならない。学生のために臨床と学校がしっかりと連携、協力し、臨地の実習を含め、いい学習ができるようにやっていきたい。</p>                          | <p>ご意見として伺った。</p>  |
| <p>オンライン授業とコミュニケーション能力育成の共存という部分で工夫をしていってほしい。</p>  | <p>ご意見として伺った。</p>  |
| <p>ボランティアはコミュニケーション能力の育成につながるが、自主的に行く人は少ない。カリキュラムに含めるなどの工夫をしないと難しいのではないか。看護大学では、選択科目の中にボランティア活動があり、単位を付与する仕組みになっている。</p> | <p>国家資格系学科以外では適応できる制度を整えている。しかし、新型コロナウイルス感染症禍でボランティアを行う学生が少ない状況である。</p>  |
| <p>新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインが増えていることによって、学生募集活動に変化はないか。専門学校は大学より対面が多いとすれば、逆にアピールのチャンスでもある。</p>                               | <p>保護者も学生も両様あって、新型コロナウイルス感染症禍の中でなぜ通わせるのかという声もある。</p> <p>専門学校は基本的に対面が中心だと思う。本校はオンラインを取り入れながら、授業をしたので、授業をやらないという不満は出てこなかった。今後も各学科の特性を考えながら、オンラインを有効活用していきたい。</p> |
| <p>介護福祉科は日本人以外の比率が多くなってきていると思うが、以前と比べて雰囲気やモチベー</p>   | <p>留学生、訓練生、高校卒業生がいるので、どこを基準にして授業をやっていくかが難しい。日々苦勞しな</p>   |

|  |   |
|--|---|
| <p>シヨンの変化はあるか。</p> <p>実務者研修の介護資格では、海外の人が入るとモチベーションが高まり、充実している。介護施設でも海外の方々が入るだけで雰囲気が変わる。その辺をアピールしてもらえると、介護のイメージが変わると思う。</p> | <p>がら指導を考えている状況である。</p> <p>留学生は勉強する意識が高いので、日本人の学生が刺激を受けている。</p> |
|--|---|

次第7. 2021年度の重点目標と達成するための計画・方法について（資料6参照）

○橋本校長より、今年度の重点目標と、その達成のための計画・方法について以下のとおり報告があった。

・基本方針中の「選ばれる学校」の意味合いを、「プレステージスクール」から「ここで学びたいと思ってもらえる学校」と、入学者目線の表現に変えた。

①TPCの育成と強化

・オンライン授業を活用して、自ら学ぶ姿勢を持ってもらえるような教育を提供していきたい。

②新たな入学者層を対象とする教育プログラムと学びのサポートプログラムの開発

・再進学者、外国人など、新たな学生層の掘り起こしを意図的にやっていきたい。

次第8. 意見交換など

| 委員からの質問・意見   | 質問・意見への回答   |
|--|---|
| <p>病院では、患者からの評価のほかに、職員が生き生きと仕事をしていればいいケアや医療が提供できるということで、医療職員の満足度調査を始めている。学校では、教職員の満足度調査のようなものはされているのか。</p> | <p>目標面接のほかに、各教職員が理事長に自分の意見を直接示す制度もあり、きちんと意見を聞きながら運営している学校だと思う。新型コロナウイルス感染症禍の中で、専任教員に週1回程度の在宅勤務を認めたり、様々な自己啓発も支援している。</p> |

以上